

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

技術部門		部門
選択科目		
専門とする事項		

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

問題番号	Ⅱ-2-地域公共交通
------	------------

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1. 調査、検討すべき事項とその内容									
(1) 既存都市施設の立地状況等の調査									
既存の都市施設や公共交通網等の立地状況を調査する。また、エコまちの対象区域のBAU比を評価しCO2排出量削減量の推移を把握する。									
(2) エコまち計画及び関連計画の把握									
総合計画、都市マス等の関連計画を調査し、整合性の確認や相乗効果等を検討する。また、エコまち計画の対象区域や施策を確認し、実施済施策の 効果検証 を行う。未実施の施策は、 実施に至らなかった 要因を抽出しとりまとめる。									
2. 業務を進める手順と留意点、工夫点									
(1) 課題の整理									
前述の調査を踏まえ、エコまち計画での課題や方針を定める上での課題を抽出する。エコまちの 効果検証等 を勘案し、課題設定を行うよう留意する。									
(2) 立地適正化に関する方針の設定									
都市の特性を踏まえ、立地適正化の方針を設定する。設定にあたり、 ターゲットと目的を明確化すること に留意する。設定された方針に基づき、都市機能等が集積する拠点や基幹的な公共交通軸を踏まえ、都市構造の検討を行う。									
(3) 課題解決のための施策及び誘導方針の検討									
前述の検討を踏まえ、課題解決のための施策と誘導方針を設定する。									

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24字×25字

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(4) 対象区域及び誘導施設の設定

居住及び都市機能の誘導区域と誘導すべき都市機能を設定する。この時、エコまち計画区域との整合性や、環境負荷の小さい公共交通を軸とした区域を設定する等、低炭素化の相乗効果を発揮するように留意する。

(5) 誘導施策及び防災指針の設定。

居住や都市機能の誘導を図るための施策を設定する。また、都市防災機能確保のために防災指針を定める。

(6) 達成状況の評価指標及び計画期間の設定

目標の達成状況を評価する定量的な指標や計画期間を設定する。エコまち計画と連動した目標値にするため、低炭素化に関連するものを加える。

(7) 達成状況に関する評価方法の検討

施策の実施状況について、実施時期並びに調査及び評価手法等の検討を行う。検討にあたっては、地域の関係者でコンセンサスを形成することに留意する。

3 . 調整方策

(1) 効率的・効果的な業務遂行のための関係者

地域住民、国、都道府県、庁内関係機関、警察、地元企業、交通事業者、観光協会等。

(2) 関係者との連携・調整について

法定団体に対しては、市町村再生協議会において人口密度等の客観的なデータに基づき協議を行う。住民に対しては情報提供だけでなく、協議会への参画やWS等を通じて意見交換を行い調整する。以上